

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3F・Tel:(072)223-2300番  
 例会日 毎週金曜日 午後0時30分  
 例会場 「天兆閣」別館4F Tel:(072)222-0131番(代表)  
 URL : <http://www.sakai-kita.jp/>  
 E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)  
 ガバナー(第2640地区) : 辻 秀和  
 ガバナー事務所 URL :  
 E-mail : [hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp](mailto:hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp)  
 会長:坂田兼則 幹事:藤永 誉 広報委員長:山ノ内修一 編集者:山ノ内修一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

## 本日の例会

2015年10月23日(金)第1682回

卓話 「電力自由化に伴う

HEMSの役割」

卓話者 三菱電機住環境システムズ(株)

江野澤 祐一様

紹介者 辰 正博 会員

今週の歌 「奉仕の理想」

「見上げてごらん夜の星を」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

今週の歌「見上げてごらん夜の星を」  
 見上げてごらん 夜の星を  
 小さな星の 小さな光りが  
 ささやかな幸せを うたってる

見上げてごらん 夜の星を  
 ぼくらのように 名もない星が  
 ささやかな幸せを 祈ってる

## 前回の例会

2015年10月16日(金)第1681回

卓話 「堺をめぐる画家たち」

卓話者 堺市交通政策課 堺市史研究会

会員 <sup>いたに</sup>井溪 明様

紹介者 堀畑 好秀 会員

今週の歌 「日も風も星も」「学生時代」  
 「堺北RCの歌」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<10月16日(金)の出席報告>  
 会員数 31名  
 出席会員 16名  
 欠席会員 15名  
 ビジター 1名  
 ゲスト 0名  
 9月18日(金)の出席率 83.87%

## 次週の例会

2015年10月30日(金)第1683回

卓話 「テーブル会議」



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a Gift to the World

国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン (スリランカ・コロンボRC)

## 卓 話

### 「堺をめぐる画家たち」

卓話者 堺市交通政策課

堺市史研究会会員 <sup>いたに</sup>井溪 明様



堺は、中世以降、南蛮貿易などを中心に繁栄を極め、そこで得た豊かな財力の許、茶の湯をはじめ多くの文化が花開きました。その中で絵画の分野に焦点を当てて、堺に居住・去来した画家を幾人かに絞って紹介します。

まず、中世以前の出来事として巨勢金岡を紹介します。金岡は、平安時代前期に御所で画作をしていたとされる伝説的画家で、大和絵の祖ともいわれます。名の通り金岡地域とかかわりがあったとされ、画作の功績により金岡神社の祭神とされました。画家が神様として祀られる稀有な例といえます。町内には、金岡が筆を洗ったとされる池がかつてあり、堺出身で東京美術学校（現・東京芸術大学）第5代校長正木直彦が地元の依頼を受けて、池畔に建つ碑に「金岡淵」と揮毫しています（現存）。神社では、かつて金岡にあやかる画神祭が毎年5月3日に行われ、堺はもとより全国から画家が集って揮毫奉納していました。堺文化としてぜひともこの画神祭の復活を期したいものです。

さて、中世以降、応仁の乱で荒れた京都を離れ、寺社や公家たちが多く堺に避難します。彼らについて来堺してきたのが、宮中で画作をしていた土佐派画人たちです。川端町（現在の女性会館付近）に居を構え、源氏絵を中心に多くの大和絵を描いていました。この源氏絵は、公家たちによる流麗な筆遣いで源氏物語の一節を記した詞書とセットになり、公家はもとより京堺の上層町衆にもてはやされた作品群でした。土佐派の絵師は、光吉（慶長18年(1613)没,75歳、墓：宝樹寺）、光則（寛永15年(1638)没,56歳、墓：宝樹寺）、光起（元和3年(1617)～元禄4年(1691),75歳）を中心に、5代ほどにわたって堺で制作を続けましたが、江戸初期の寛永11年（1634）京都へ還住しました。光起は、生まれ故郷堺の開口神社の依頼で、元禄3年(1690)「大寺縁起絵巻」（重文）を描いています。

同じ頃、武家から絵描きになった曾我直庵（生没不詳）と子の二直庵（生没不詳）も堺に居住し、曾我派という一派を建てて、武人が好む鷹図などを能くしました。

さて、桃山期で忘れてはいけない画家の一人に長谷川等伯がいます。狩野永徳と並び日本を代表する画家で、国宝の「松林図」や京都智積院の襖絵などすぐれた作品を数多く残しています。彼は、堺の豪商油屋一族出身の日通上人（等伯が肖像を描く）と深い親交があり、その仲介のもと、堺の豪商（茶人達）とも交流があり、若いころは堺に来ていた可能性があります。とりわけ千利休とは親しく、画像を生前と没後二度にわたって描いています。

江戸期にはいると、堺の財力を頼り、さらに大陸貿易などでもたらされた書画を学ぶ目的で多くの画家が去来します。趙陶斎（天明6年(1786)没,74歳、墓：本源院）、林閨苑（生没不詳）、岡田為恭（文政6年(1823)～元治1年(1864),42歳）、田能村直入（明治40年(1907)没,94歳）などがその代表的な人々でした。彼らはいずれも上方で名の通った画家ですが、その素養の多くを堺から学んだと考えられます。田能村直入などは、天保10年(1839)から弘化3年(1846)まで堺の名家古家魯岳宅に寄宿し、仁徳陵の上から堺の町を俯瞰で描いたりしています。ちなみに彼は、後に京都画学校（現・京都芸大）を創設しました。

近代には、堺をこよなく愛し、町の様子やそこに住まう人々を描き続けた岸谷勢蔵(明治32年(1899)~昭和55年(1980))がいます。この画家については昨年12月の卓話で紹介させていただきましたので省略します。

現代にも、美術協会をはじめ多くの画家がいますが、その中で岩本かずえさんは、「未来へつなごう！堺チン電の会」会員で阪堺電車のボディ広告車両の絵画や、チン電を取り込んだ町の姿を様々に手掛けています。この岩本さんたち堺の画家たちが中心となり、平成19年より「アートグランプリ in SAKAI」という全国中学生美術部作品展が始まりました。「もののはじまりみな堺」のとおり、堺に新たな美術ムーブメントが起こってきたのはうれしいことです。だいに育ててゆきたいものです。

卓話では触れませんでした。文明元年(1469)8月、中国から帰国の遣明船に乗船していた雪舟が堺に上陸し、その時雪舟は堺の地で作画の注文を受けますが、自分の代わりに狩野正信を紹介し、これが狩野派重用の基となったと伝わっています。

また、今年に琳派誕生400年の年ですが、その祖である俵屋宗達が、堺の豪商谷家の依頼で描いたと考えられる「松島図」(ワシントン・フリア美術館蔵)が長く祥雲寺に伝存してきました。今日、日本国内にあると間違いなく重要文化財あるいは国宝となっていたものですが、これも堺商人の財力と優れた芸術家が結びついた一例を示すものといえます。

堺をめぐる画家とその絵画は、上方文化の醸成に多く貢献をしてきたことは間違いありませんが、それを支えてきた堺の人と富を検証することで、堺の文化史に新たな1ページ加わるものと思っています。

## 会長の時間

会長 坂田 兼則



本日の会長の時間は、私の業界すなわち土地家屋調査士会について少しお話させていただきます。

土地家屋調査士は全国で約3万人ほど、大阪府下では現在1056人がおります。

しかしながら、魅力が無いのでしょうか、国家試験の受験者数が年々減ってきて、今年も全国で実際に受験したのは約4700人ほどです。合格者は412名となっております。

調査士は、強制会であり、各都道府県にある調査士会に入会しなければ仕事が出来ません。昨日は大阪土地家屋調査士会における中間監査がありまして、私も監事をしておりまして出席しましたが、調査士会の監事というのは会計監査だけでなく、業務監査も行っておりますが、その監査の中で最近増えてきているのが、綱紀案件であります。綱紀案件というのは一般の方々が調査士に不満があるときに、法務局に苦情を持ち込み法務局から調査士会にその案件について調べて、対象となっている調査士について法務局に報告しなさいというものです。数年前までは、年間2ないし3件ぐらいであったのが、最近では7件から8件と増えてきました。最近の調査士への綱紀案件が増えてきたものは、土地の境界の立会いで十分な説明もなく、横柄な態度の調査士がいるとか、又勝手に人の土地に入って測量している、又測量依頼者の言うとおりの境界を決めてくれないなど、調査士としてのモラルにかけている調査士や、調査士の自覚に欠けている調査士が多くなっているように思えますが、おそらくこれは私たち調査士だけの問題ではなく、

過去には考えられなかった一般常識の欠如すなわち現在社会が抱えている人間形成における欠陥ではないかと思えてなりません、まあ一般常識とはなんぞやといわれたら非常に悩みますが。

ここ数年の2640地区のロータリークラブの問題にしても、ロータリアンとはなんぞやと考える前に、どんな職種のロータリアンであっても、まず人とはどうあるべきかを考えることが先ではないのかな、と思いました。

以上、昨日の調査士の監査をしているときにふっと思いましてお話をさせていただきました。

## 委員会報告

### 広報委員会

広報委員 米澤邦明

#### 「ロータリーの友 10月号のご紹介」



#### 横組み

子どもたちの未来の夢が地域の夢に そしてロータリアンの夢に…… P20-21

第2510地区ロータリー財団委員 奉仕プロジェクト委員長

出村知佳子

ロータリー財団のグローバル補助金を活用し、「経済と地域社会の発展」に取り組んだ事例。タイの東北地区で、料理、洋裁などの職業訓練を行い、最終的には訓練を終えた学生への就労につなげようというプロジェクトです。

#### 縦組み

弘法大師とロータリー P4-7

商売繁盛の会社ではなく、大事なことは「人間繁盛」の会社にしなければならない、そのためにはお大師さまの三密行（身密、口密、意密）をしっかりと教えてあげることが、会社繁栄の大きな礎になることは間違いない、とっております。

総本山金剛峯寺執行 高野山真言宗 財務部長 金剛山宝寿院住職 廣瀬 義仙

(今回の私の委員会報告の顔写真はイラストにしてみました。いかがでしょうか?)

## S A A 報告

那須宗弘会員 井溪先生、今日は講演楽しみにしています。御苦勞様です。

小西幹夫会員 本日は特別にS A Aを仰せつかりました。

嶽盛和三会員 井溪様卓話楽しみにしております。

奥野圭作会員 先日の例会、欠席誠に申し訳ありません。

合計 15,000円

## 幹事報告

(1) 本日の配布物

・週報 ・ロータリーの友10月号

(2) 幹事報告

- ・35周年チャリティーゴルフコンペ参加者募集しておりますので、皆様のお友達などお誘い合わせの上、申込書を事務局までお送り下さいませ。
- ・いつもお世話になっております、南海グリの秋祭り開催のチラシを配布致しました。

(3) 他クラブ例会変更のお知らせ

- ・堺おおいずみロータリークラブ 10月28日(水)→10月31日(土)  
創立31周年記念例会 18:00 ホテルアゴーラリージェンシー堺
- ・堺泉ヶ丘ロータリークラブ  
11月10日(火)→11月8日(日)於：西原公園 グラウンド  
「第19階南区城ふれあい祭り」

ご存知ですか？

～ 国名編 ～

広報委員会

- ① 愛ス蘭      ② 愛蘭
- ③ 亜弗掩担   ④ 亜米利加
- ⑤ 阿爾及      ⑥ 亜爾然丁
- ⑦ 英吉利      ⑧ 伊色刺
- ⑨ 伊太利      ⑩ 印度
- ⑪ 烏克蘭      ⑫ 宇柳具
- ⑬ 埃及          ⑭ 濠太刺利
- ⑮ 澳太利      ⑯ 和蘭・阿蘭陀
- ⑰ 加奈陀      ⑱ 幾肉亜
- ⑲ 玖馬          ⑳ 希臘



- ⑳ 希臘
- ⑲ 玖馬
- ⑱ 幾肉亜
- ⑰ 加奈陀
- ⑮ 澳太利
- ⑭ 濠太刺利
- ⑫ 宇柳具
- ⑪ 烏克蘭
- ⑩ 印度
- ⑨ 伊太利
- ⑧ 伊色刺
- ⑦ 英吉利
- ⑥ 亜爾然丁
- ⑤ 阿爾及
- ④ 亜米利加
- ③ 亜弗掩担
- ② 愛蘭
- ① 愛ス蘭